

**令和4年第2回 岩沼市議会定例会
一般質問(個人)通告一覧表**

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
4	5	佐藤 剛太	<p>今後の公共施設等の管理について</p> <p>1. 岩沼市公共施設等総合管理計画の改訂について</p> <p>(1) 令和3年度内に、計画の一部見直しが行われるが、これまでの計画と改訂版の比較について伺う。</p> <p>① 本市が保有する公共建築物の総延床面積を伺う。</p> <p>② 市民一人当たりのおおむねの延床面積を伺う。</p> <p>③ 築30年を経過した公共建築物の割合を伺う。</p> <p>④ 築40年を経過した公共建築物の施設名と築年数を伺う。</p> <p>⑤ これまでの計画による更新費用は、仮に今後40年間で新たな施設の整備は行わずに既存の公共施設等を全て更新する場合、総額で1,391.8億円から1,819.2億円の更新費用が必要と見込まれていたが、改訂版では、どのような額になっているのか伺う。</p> <p>2. 今後の公共施設等の管理について</p> <p>(1) 総量の適正化について伺う。</p> <p>(2) 施設保全整備基金について伺う。</p> <p>(3) 社会性や市民ニーズについて伺う。</p> <p>(4) 公民連携を活用した整備・運営について伺う。</p> <p>3. 建築から47年が経過した岩沼市役所庁舎について</p> <p>(1) 現在の庁舎の課題について</p> <p>① 老朽化について伺う。</p> <p>ア 建設設備の劣化状況について伺う。</p> <p>イ 大規模修繕を行った場合の費用を伺う。</p> <p>ウ 大規模な改修等を行わず不良箇所等の修繕により、10年間使用を継続する場合の費用を伺う。</p> <p>② その他の課題について</p> <p>ア 防災性・機能性・社会性などについて伺う。</p> <p>4. 市役所の周辺公共施設の老朽化や今後の維持管理について伺う。</p> <p>(1) 旧岩沼市図書館について伺う。</p> <p>(2) 岩沼市民体育センターについて伺う</p> <p>5. 今後、庁舎の建替えや大規模改修に向け、本市においても早急に準備を始めるべきではないか伺う。</p>	市長

5	8	布田 恵美	<p>グリーンピア岩沼の利活用について</p> <p>1. グリーンピア岩沼におけるホテル事業継続に向けたサウンディング実施報告によると、「民間6事業者と昨年7月から10月にかけて、意見交換を実施した」とある。</p> <p>(1) サウンディング型市場調査を行い、6事業者中5事業者が現地見学をされたと聞くが、事業者の皆さんは施設活用についてどのような展望を描かれていたのか。</p> <p>(2) 施設活用の方向性（運営体制、事業内容など）については、これまでの方向性を継続するのか、今後の市の方針を伺う。</p> <p>(3) あくまでホテル事業継続の方向で進めていくのか伺う。</p> <p>2. 先日、「宮城県が日本語学校開設を検討する方針を決めた」と報道された。地方の人口減少が加速する中、幅広く人材を呼び込み、産業振興と国際化推進を目指すとされている。</p> <p>(1) グリーンピア岩沼の利活用策の一つとして、地の利を生かすとともに緑が多く落ち着いており、学習にもふさわしい環境であることから、日本語学校としての展開もあるのではないだろうか。</p> <p>① 宮城県は、全国初の町立日本語学校を開校した北海道東川町や、公私協力による日本語学校を開校した長崎県五島市などの先進地を参考に調査を実施するとしている。仙台国際空港を始め、JRや国道の分岐点など交通の要衝としての地の利や共生社会への素地があると言える岩沼市としても、日本語学校の設置や誘致を検討してはどうか。</p> <p>② 北海道東川町は、日本語学校を卒業した外国人の地元就職や定住を積極的に支援して人口増につなげており、地域振興の先進地にもなっている。岩沼市に外国人学校を設置した場合、在籍中に企業の担当者との面談や研修などを行う際にも、当市の交通の利便性は大きなメリットとなる。また規定に沿った資格外活動（28時間／週 以内、長期休暇時：40時間／週 以内）の時間内でアルバイトをしながら学ぶ学生たちにとって、当市はスーパー、コンビニ、飲食店、食品製造業など働く場にも恵まれている。以上</p>	市長 教育長
---	---	-------	--	-----------

(続)	8	布田 恵美	<p>の点からも日本語学校設置に関して当市は優位な立場にあると思えるが、考えを伺う。</p>	
			<p>新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>1. 新型コロナウイルス感染症の終息がなかなか見出せない状況下、働く世代、子育て世代、子どもへの感染者も増える傾向が続いている。</p> <p>(1) 入院しての加療が行えない、陽性反応が出ている自宅療養者への支援はどのように行っているのか。</p> <p>① 日頃買い置きしている生活用品（食材・雑貨など）でしのぎつつも、長期に渡り買い物に出られない状態、自宅療養となると食べ物なども底をついてしまうこともある。そのような事例への対応は、どうしているのか。</p> <p>② 高齢者、子育て世代、特にひとり親家庭など、コロナ禍ということもあり、これまで以上に近隣との交流も取りにくく、また頼れる人もいないという場合もある。緊急支援が必要な場合もあると思われるが、どのように対応してきているのか。</p> <p>③ 中には幼子数名を抱えて感染者となって途方に暮れるひとり親家庭もある。直近で地域の子育て支援者からの相談を受け、緊急支援者への橋渡しで急場をしのいだ事例に遭遇した。特に、週末で役所の窓口で連絡がつかないときに、どのような対応が可能なのか。</p>	市長
			<p>市制施行 50 周年記念事業について</p> <p>1. 昨年 9 月定例会において、市制施行 50 周年事業についての質問を行った。その後の事業の進捗と展開について伺う。</p> <p>(1) 次世代に残せるモニュメント設置を提案しており、市長からは「今後、子どもたちを中心にした事業ができないかどうか、記念式典を挟んで後半も含めて検討していきます。」と答弁があった。今年度も残り 1 か月余りとなっているが、何か進捗はあったのか伺う。</p> <p>(2) JR 岩沼駅東口広場への時計設置を提案していた。市長からは「時計も確かに必要だとは思いますが、今皆さんも時計のみならず自分で時間を管理し、スマホで時刻を見えています。外の時計はどうなのかなという思いであり、具体的な考えは持つ</p>	市長

(続)	8	布田 恵美	<p>ていません。もし時計を提供してくれる方がいればいいという点も含め、何か考えてみたいと思います。」と答弁があった。市内外の駅前利用者から、「駅前という多くの利用者がある公共スペースでの時計は必要だ」という声が届いている。その後、何か進展はあったのか伺う。</p>	市長
6	3	高梨 明美	<p>農業振興施設の在り方について</p> <p>1. ハナトピア岩沼について</p> <p>(1) 現在の施設の利用状況を伺う。</p> <p>(2) 令和元年9月の同僚議員の質問に対し、市民経済部長は、「ハナトピアの土地について、本年4月に地権者の方々と3年間の賃貸借契約を更新させていただいた。土地の取得については、この3年間の間で検討してまいりたいと考えている。」と答弁している。今年3月末が契約期限となっていると思われるがその後の予定を伺う。</p> <p>(3) 今後の施設活用の計画を伺う。</p> <p>2. 農村環境改善センターについて</p> <p>(1) 現在の施設の利用状況を伺う。</p> <p>(2) 施設全体の老朽化や、加工室の設備が古くなっているため不便だとの指摘を利用者から伺っている。また、公共施設総合管理計画には「老朽化が進行していることに加え、軟弱地盤のため地盤沈下が発生しているため、徹底した安全確保に取り組む」とある。この件について、市の考えを伺う。</p> <p>3. 統廃合について</p> <p>(1) 岩沼市公共施設等総合管理計画には、「ハナトピア岩沼及び農村環境改善センターは、周辺の類似施設の立地状況や市民ニーズを踏まえつつ、統廃合を検討する。」と記載されているが、現在の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 統廃合の進め方について</p> <p>① 農村環境改善センターの加工室の利用者から「加工室を現在の規模を維持したまま残してほしい。」との声が多くあるが、見解を伺う。</p> <p>② 現在農村環境改善センターで行っている事業を将来的にはハナトピア岩沼に継承できるように、環境整備をしてはどうか伺う。</p> <p>③ 加工室の利用者が高齢化してきているとの声がある。今後、若い方たちが利用しやすい環境づくりが必要ではないか伺う。</p>	市長

(続)	3	高梨明美	<p>④ 統廃合について施設の利用者の方たちの意見を聞きながら、今後の計画を進めてはどうか伺う。</p>	
			<p>男女共同参画の取組について</p> <p>1. 岩沼市男女共同参画基本計画（第2次）について</p> <p>(1) 計画期間は、2019年度から2022年度までの4年間となっているが、これまでの進捗を伺う。</p> <p>(2) 第3次計画策定の今後の予定を伺う。</p> <p>2. 女性の視点からの防災について</p> <p>(1) 本市の防災会議等における女性参画の状況と取組を伺う。</p> <p>(2) 女性の視点や意見を反映させるためにも防災会議の女性委員の割合を高めることが必要ではないかと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 内閣府男女共同参画局が令和2年5月に作成した「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」の活用についての考えを伺う。</p> <p>3. 教育の場における男女共同参画の実現について</p> <p>男女共同参画社会を実現させるためには、子どもの頃から男女が互いの人権を認め、尊重し合い、自立することの必要性を自覚できるようにするとともに、性別固定的役割分担に捉われない意識を育むことが必要である。</p> <p>(1) 制服の選択制について、教育委員会の見解を伺う。</p> <p>(2) 各中学校の状況を伺う。</p> <p>(3) 学校間での格差が生じないために共通認識を持つことが必要であると思うが、見解を伺う。</p>	市長 教育長
7	2	寒風澤 敦 司	<p>今後のまちづくりについて</p> <p>本市は、東北の玄関口である仙台空港が立地し、国道4号と6号の合流点、JR東北本線と常磐線の分岐点など交通の利便性がある。このような優位性を生かし、企業を誘致して新たな産業や雇用の創出、地域活性化を目指していかなければならない。また、少子高齢化、人口減少が進む中、新たな宅地の整備を行い、若い世代の定住者を増やすことが必要と考える。施政方針にあった、北長谷字内田地区の市街化区域編入と岩沼インターチェンジ周辺の土地活用に関するサウンディング型市場調査、空港周辺のにぎわいづくり及びグリーンピア岩沼について伺う。</p>	市長

(続)	2	寒風澤 敦 司	<p>1. 北長谷字内田地区の土地開発整備について</p> <p>(1) 民間事業者の開発意向があった内田地区の位置と整備面積について伺う。</p> <p>(2) 土地の用途（住宅又は商業用地）について伺う。</p> <p>(3) 土地造成工事の着手及び整備完了予定年度について伺う。</p> <p>2. 仙台東部道路岩沼インターチェンジ周辺の土地開発整備について</p> <p>(1) サウンディング型市場調査では、民間企業からどのような土地利用の提案があり、どのような可能性を見出したのか伺う。</p> <p>(2) 岩沼では住宅用地が少ないと聞く。人口減少対策としても宅地造成が必要だと思うが、考えを伺う。</p> <p>3. 空港周辺のにぎわいづくりについて</p> <p>昨年2月、仙台空港の24時間運用に関する覚書を宮城県と締結した。その中に県と市が連携して共に推進する事業として、宮城県土地開発公社が所有する仙台空港フロンティアパーク地内の土地を活用し、空港周辺の賑わいの創出と県南地域の観光振興に資する集客施設の誘致を本市と共に積極的に取り組むなど、地域活性化拠点機能の配備を目指すところがあるが、その進捗等について伺う。</p> <p>(1) 仙台空港フロンティアパーク地内の用地確保の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 県との話合いの進捗状況を伺う。</p> <p>(3) 整備スケジュール（整備目標年度）について伺う。</p> <p>4. グリーンピア岩沼のホテル事業公募について</p> <p>グリーンピア岩沼は、市街地から車で約10分の場所に広がる大自然に囲まれた生涯学習と健康増進の拠点施設であるが、残念なことに昨年11月にホテル営業が終了した。ホテル事業再開に向けての公募内容について伺う。</p> <p>(1) 昨年度のサウンディングの経過を伺う。</p> <p>(2) 公募期間を前回のサウンディング期間と同じく1か月としているが、ホームページでの周知以外に、市からダイレクトメール等を行っているのか伺う。</p> <p>(3) 前回のサウンディング結果を踏まえ、条件設定にどのような工夫をしているか伺う。</p>	市長
-----	---	---------	--	----

8	17	酒井 信幸	<p><u>新型コロナウイルス感染症対策について</u></p> <p>1. コロナウイルスワクチン接種について</p> <p>(1) これまでワクチン接種をした年代別の接種率を伺う。</p> <p>(2) ワクチン接種をされない方への周知について伺う。</p> <p>(3) 3回目のワクチン接種の現在の接種率を伺う。</p> <p>(4) コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目）のスケジュールが示されたが、今後この計画より早くなることはあるのか伺う。</p> <p>2. コロナ禍の対応について</p> <p>(1) 小・中学校での授業中、マスクを外して授業を行っているのか伺う。</p> <p>(2) オミクロン株が主流となり、これまで以上に感染者が増えてきた場合の授業体制（時差登校等）について伺う。</p> <p>(3) 保育所における園児のマスク着用率について伺う。</p> <p>(4) 小・中学校の学級閉鎖、学年閉鎖、臨時休校の判断基準について伺う。</p> <p>(5) 小学校が臨時休校となった場合、隣接する児童センター等は臨時休館するのか伺う。</p> <p>(6) 保育所の臨時休所の判断基準について伺う。</p> <p>(7) 施政方針で、引き続き迅速かつ適切な経済対策の実施を行うと述べられたが、どのような対策を行うのか伺う。</p> <p>3. 宮城県からの新型コロナウイルス感染者の情報提供について</p> <p>(1) どの課にどのような連絡が入るのか伺う。</p> <p>(2) 感染者の連絡を受け、市ではどのような対応を行うのか伺う。</p> <p>4. 新型コロナウイルス感染者自宅待機者への支援について</p> <p>(1) オミクロン株が主流となり、感染者の自宅待機者が増えてきている。生活用品等の無料配布についての考えを伺う。</p>	市長 教育長
9	12	佐藤 一郎	<p><u>仙台空港運用時間延長に係る要望事項について</u></p> <p>仙台空港運用時間延長に係る要望事項の進捗状況と今後の取組について伺う。</p> <p>1. 治水対策として行われる河川改修、排水機場整備及び橋梁改修について、進捗状況を伺う。</p>	市長

<p>(続)</p>	<p>1 2</p>	<p>佐藤 一 郎</p>	<p>(1) 志賀沢川改修工事の早期着工について (2) 南長谷排水機場の整備について (3) 葉の木堀に架ける橋梁の改修について</p> <p>2. 矢野目西地区の開発について、進捗状況を伺う。 (1) 現在までの販売状況について伺う。 (2) 市の都市計画マスタープランでは、新産業エリアとして位置付けられており、都市計画上は一般保留地区となっているが、開発の進捗状況を伺う。 (3) 開発の課題と今後の取組を伺う。</p> <p>3. 仙台空港アクセス線の延伸は、先の3時間延長の際に覚書を取り交わしているが実現していない。矢野目地区住民の利便性の向上のためにも矢野目西地区の開発と連動した整備が必要と思うが、考えを伺う。</p> <p>4. 空港へのアクセス道路の改良について伺う。 (1) 県道岩沼蔵王線の延伸（国道4号から県道塩釜亘理線へ） (2) 県道塩釜亘理線未改良部分の整備（早股地区改良工事）</p> <p>5. 空港周辺地域の賑わい創出のため仙台空港フロンティアパーク地内に整備する賑わい創出拠点の進捗状況と今後について伺う。</p> <p>6. 矢野目地区の明るい未来に向けて、地域コミュニティの維持確保及び新たな人口流入を図るため、仙台空港と共存共栄を図る必要があると考えるが、市として今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p>	<p>市 長</p>
<p>空き家対策について</p>			<p>市 長</p>	
<p>年々市内の空き家件数は増加傾向にあり、地域住民の生活環境に影響を及ぼしている。その対策について伺う。</p> <p>1. 市内の空き家について、実態を把握するための調査方法及び調査結果を伺う。</p> <p>2. 周辺の住民からの苦情、相談等が届いていれば、その内容を伺う。</p> <p>3. 今後の空き家対策について伺う。 (1) 空き家対策の推進に関する特別措置法（以下「空家法」）では、「市町村は、その区域内で空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、基本指針に即して、空家等に関する対策についての計画を定めることができる」と規定しているが、この規定に対する市の考えを伺う。</p>			<p>市 長</p>	

(続)	1 2	佐藤 一郎	<p>(2) 空家法では空家対策のための協議会を組織できる規定があるが、この規定に対する市の考えを伺う。</p> <p>(3) 空き家を有効活用し、移住、定住につなげるため、空き家の相談窓口を開設してはどうか伺う。</p> <p>(4) 空き家にならないために「住まいの終活」相談を検討してはどうか伺う。</p>	市長
1 0	1	大村 晃一	<p>子育て支援と対策について</p> <p>1. 岩沼市第4期次世代育成支援行動計画、第2期子ども・子育て支援事業計画について</p> <p>(1) 子育て環境の変化や前期計画の検証・反省を踏まえ、5年計画で策定され2年が経過した。ここまでの評価と今後の取組について伺う。</p> <p>① 市としての、これまでの計画に対する評価を伺う。</p> <p>② コロナ禍となり、計画の変更や修正を余儀なくされる内容も考えられると思うが、そのような状況も踏まえた今後の取組を伺う。</p> <p>(2) 岩沼市次世代育成支援協議会及び岩沼市子ども・子育て会議について伺う。</p> <p>① 委嘱する委員の選定方法について伺う。</p> <p>② 委員の委嘱期間について伺う。</p> <p>(3) 他の自治体では似たような事業計画を進める上で、子ども・若者育成支援推進法において、自治体への協議会設置が努力義務となっていることから、子ども・若者支援地域協議会を設置し、幅広い連携と情報共有を行いながら取り組んでいる自治体もある。本市でも設置を検討してはどうか伺う。</p> <p>2. 子どもたちの遊戯環境について</p> <p>(1) (仮称)岩沼西子育て支援センターリニューアル工事について</p> <p>① 施設の全体像について伺う。</p> <p>② 以前の一般質問で提案した、子育て支援センターを利用している方などからの意見を聞くためのアンケート調査が行われたが、どんな意見があり、どの程度その意見を取り入れる予定なのか伺う。</p> <p>③ 以前の一般質問では、「子育て支援センターとして活用できるスペースが他の3施設よりも広がっていることから、子どもたちの遊ぶスペ</p>	市長 教育長

(続)	1	大村晃一	<p>ースを広く確保できると見込んでいる」との答弁だったが、どのようなスペースになるのか伺う。</p> <p>④ 大きめの遊具などは、購入金額が高いと聞いている。資金調達的手法として、自治体クラウドファンディング（ガバメントクラウドファンディング）を行ってはどうか伺う。</p> <p>(2) 子育て支援センターなど、未就学児の遊戯施設が整っていくのは素晴らしいことである。本市でも未就学児と小学生児童などを共に育てている家庭が多く存在することから、そのような家族構成の家庭でも、子どもたちが一緒になって遊ぶことができるように、幅広い年齢の子どもたちが安心して屋内外で遊べる施設整備も必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>3. 一時預かり事業について</p> <p>(1) 利用施設と状況について</p> <p>① 現在の利用施設について伺う。</p> <p>② 現在の利用状況について伺う。</p> <p>(2) 受入れ開始対象となる子どもの条件は、離乳食をほぼ終えた子どもとなっているが、多くの自治体では離乳食を終える前から受入れを開始している。他の自治体同様に、受入れ対象となる子どもの時期を早めてはどうか伺う。</p> <p>(3) 利用申請は、窓口申請となっている。利用者の負担軽減のためにオンライン申請を行ってはどうか伺う。</p> <p>(4) 新型コロナウイルスの影響で保育施設が休園となった場合、別の場所で一時預かりをする「代替保育」について、国は、財政支援を決めたことを先日各自治体に通知した。一時預かり事業とは異なるケースで対応が求められるが、本市の今後の対応を伺う。</p>	市長 教育長
11	10	渡辺ふさ子	<p>より安全・安心な学校給食用パンについて</p> <p>1. 農民連食品分析センターは、2019年6月から、子どもたちが食べる学校給食用パンの調査に着手した。呼びかけに応じて様々な人からサンプルが寄せられ、14製品の検査を行い、国産小麦・米粉で作ったパン以外のすべてからグリホサートが検出された。この理由について分析したセンター所長は「海外では収穫の効率化と製品の高品質化を目的とし</p>	教育長

(続)	10	渡辺ふさ子	<p>て、収穫直前にグリホサートを散布（プレハーベスト処理）することが認められており、農水省は調査でアメリカ・カナダ産小麦の9割以上からグリホサートが検出されたと報告しています。小麦のグリホサートの残留基準値は30ppm（2017年に5ppmから引き上げ）となっており、残留農薬基準を超過している小麦を使用して製造された製品はなさそうですが、成長期の子どもが食べる給食パンで、外国産小麦を使った全てのパンから検出されたことは問題です」と話している。このことについて、教育長の見解を伺う。</p> <p>2. 宮城県の学校給食用小麦粉の基本ブレンド割合はアメリカ・カナダ・国産（宮城県・岩手県産）70%、宮城県産「夏黄金」30%となっている。市内学校給食での外国産の割合は約何%か。</p> <p>3. 学校給食用米粉パンには宮城県産ひとめぼれ56%、小麦粉30%、グルテン14%が配合されている。小麦粉とグルテンの外国産の割合は約何%か。</p> <p>4. 農民連食品分析センターのグリホサートの残留検査は、高速液体クロマトグラフ質量分析計（LC/MS）を利用した分析センター開発のグリホサート試験法で実施され、検査対象成分は、グリホサートとその代謝物AMPA（アミノメチルホスホン酸）となっている。</p> <p>一般財団法人宮城県公衆衛生協会による残留農薬検査結果では、学校給食パン用小麦粉からは検出なしという検査結果が報告されているが、なぜ違う結果になるのか納得できない。どのような検査法なのか伺う。</p> <p>5. 市として農民連食品分析センターに試料の提供をし、検査を行ってはどうか。</p> <p>6. SDGsの取組としても、地産地消で学校給食の安全・安心を高めることは持続可能な環境保全型農業を応援することにつながる。宮城県学校給食会に対し、給食のパンは安全・安心の国産・県産小麦を使用するよう要請すべきではないか。</p>	教育長
			<p><u>感染拡大の新型コロナウイルス対策について</u></p> <p>1. 3回目ワクチン接種の進捗について伺う。</p> <p>(1) 医療従事者について</p> <p>(2) 高齢者施設の職員について</p> <p>(3) 保育施設の職員について</p>	市長 教育長

(続)	10	渡辺 ふさ子	<p>(4) 学校職員について</p> <p>(5) 市職員について</p> <p>2. 集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員に、定期的なPCR検査を行うべきではないか。</p> <p>3. いつでも、誰でも、何度でも無料のPCR検査等を受けられるよう県の対応だけでなく、市でも検査体制を拡充すべきではないか。</p> <p>4. 自宅療養者への食料・日用品の提供体制等の状況について県と情報を共有し、十分な支援体制を求め整えるべきではないか。</p> <p>5. 市内小中学校の児童・生徒の感染が連日のように報告されている。家庭学習の日になったクラスの子どもたちの日中の居場所づくりが必要ではないか。児童館・児童センターでの対応はできないか。</p> <p>6. 家庭学習の日にはリモート学習の対策を考えているとの昨年9月定例会での答弁があったが、具体化されているのか。</p> <p>7. 給食は子どもたちの楽しみでもあり大切な栄養源となっている。休校の場合の給食を持ち帰り弁当として受け取れるように対策を考えてはどうか。</p> <p>8. 休校の場合の給食費は返還されるのか。</p>	市長 教育長
12	9	須藤 功	<p>市長の政治姿勢について</p> <p>1. 2期8年を振り返って</p> <p>(1) 前市長は「震災復興道半ば」的な発言で、3月まではやる気満々だったが、急な引退となった。菊地市長の2期8年を振り返り、市長の政治姿勢を伺う。</p> <p>(2) 菊地市長らしさが市民に伝わったか。可もなく不可もなかったのではないか。</p> <p>2. 大震災後に建設した施設の年間の維持管理費について</p> <p>(1) 千年希望の丘の維持費はいくらか。</p> <p>(2) 排水機場の維持費はいくらか。</p> <p>(3) ほかに増えたもの（市民交流プラザなど）として、総額はいくらになっているのか。</p> <p>(4) 震災前の予算は140億円程度だったが、本年度予算案は174億円となっている。どう思うか。</p> <p>3. 人口減少対策について</p> <p>(1) これからは子どもに対する予算を確保することが望ましいと考える。市独自の予算を確保すべきではないか。</p>	市長 教育長

(続)	9	須藤 功	<p>(2) 給付金や手当金などのいわゆるバラマキではなく、少子化対策としての予算を考えていくことが望ましい。例えば不登校対策や、学校に地域が介入していくような市独自の対策に係る予算を考えてはどうか。</p> <p>4. これからのビジョンについて</p> <p>(1) 市長は、これからの岩沼をどう考えているのか。</p> <p>(2) 市に人を引き寄せる目玉政策が必要ではないか。例えば朝日山公園を整備し、白鳥が飛来してくるような環境を整えるなどの方策を考えてはどうか。</p> <p>(3) 6月に市長選がある。3期目の立候補について伺う。</p>	市長 教育長
-----	---	------	---	-----------